

科学技術振興調整費 成果発表会

プラズマテレビや携帯電話など、わたしたちの身近には先端の科学技術の成果が活用されています。しかしながら、「科学技術ってすごそうだけどなんだかよくわからない」、「新聞やテレビを見ても専門的な言葉が多くて難しい」といった声をよく聞きます。

その一方、地球温暖化や少子・高齢化への対応、さらなる経済の発展など、科学技術の進展により解決が見込まれる課題は数多く残されており、豊かな社会を築いていくためにますます社会と科学技術との関わりが重要となってきています。

今回の科学技術振興調整費成果発表会は、このような観点から、その成果を一般の方を対象として研究者の方々から発表していただくことにより、社会と科学技術の関わりをより深くすることを目的としています。ご参加いただきました方々には、我が国の先端の研究現場においてどのような研究開発が行われていて、その成果はどのように社会に還元されていくのかなどについてご理解を深めていただければと考えております。

文部科学省におきましては、こうした機会・活動を通じて、単なる情報の発信にとどまらず、社会と研究現場との双方向的な対話を構築していきたいと考えており、研究者の方々のご協力と一般の方々のご理解を期待しています。

開催日

3月14日(月)

時間

13:00~17:00

会場

東京大学〈経済学部1番教室・6番教室〉

主催 **文部科学省**

科学の最先端をご紹介します

もつと知りたいたい

プログラム

1番教室 経済学部 経済学研究科棟 地下1階

13:00~13:05	挨拶	増子 宏 (科学技術振興調整費室長)
13:10~13:40	話し言葉が理解できるコンピュータの開発	古井 貞熙 (東京工業大学大学院情報理工学研究所)
13:40~14:10	個体としての時計遺伝子:光・ホルモン・行動	岡村 均 (神戸大学大学院医学系研究科)
14:20~14:50	生命のしくみを解くためのツールづくり: 試験管内で“コピー可能な”タンパク質をつくる	宮本 悦子 (慶應義塾大学理工学部)
14:50~15:20	嫌われものの病原微生物は医薬資源の宝庫でもある	三上 襄 (千葉大学真菌医学研究センター)
15:20~15:50	キュウリのウイルス病ワクチンの開発に成功	小坂 能尚 (京都府農業資源研究センター)
16:00~16:15	レーザー光で分子の向きを自由に操る分子操作技術の開発	大村 英樹 ((独)産業技術総合研究所)
16:15~16:45	ナノの世界をアクティブに探索する技術の開発	藤田 大介 ((独)物質・材料研究機構)

6番教室 経済学部 新館2階

13:10~13:40	地震時の高速地すべりのメカニズムとその予知	佐々 恭二 (京都大学防災研究所)
13:40~14:10	2003年十勝沖地震は予想された地震だったか	平田 直 (東京大学地震研究所)
14:20~14:50	光をあやつる新しい材料の開発 — 3次元フォトニック結晶 —	川上 彰二郎 (東北大学未来科学技術共同研究センター)
14:50~15:20	反応性を決める表面の原子を見たい	富江 敏尚 ((独)産業技術総合研究所)
15:20~15:50	タンパク質の水素と水分子を観察その役割を調べる	新村 信雄 (茨城大学大学院理工学研究科)
16:00~16:30	わずかな血液で病気がわかるナノ診断システムの開発	石原 一彦 (東京大学大学院工学系研究科)
16:30~17:00	スス?が拓く新しいナノの世界 (カーボンナノチューブエレクトロニクス)	水谷 孝 (名古屋大学工学研究科)

東京大学〈経済学部〉 東京都文京区本郷7-3-1

- 地下鉄大江戸線・丸の内線本郷三丁目駅 徒歩約2分
- 地下鉄南北線・東大前駅 徒歩約8分
- JR/地下鉄・御茶ノ水駅からバスで東大正門前下車 徒歩約6分

■1番教室へはAの入口をご利用ください。

■6番教室へはBの入口をご利用ください。



入場無料

事前のお申し込みは不要です。当日直接会場までお越しください。なお、定員になり次第、入場をお断りする場合がございます。予めご了承ください。

■問い合わせ先

科学新聞社 シンポジウム事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町1-8-1

TEL.03-3434-3741 FAX.03-3434-3745 E-mail:sinpo@sci-news.co.jp